

30201鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	15 ～ 16	橋脚解体工事における、破砕コンクリート殻上でコンクリート構造物の鉄筋のガス溶断中に、コンクリート殻が動いたためバランスを崩して左足をひねり、左距骨骨折、左踵骨骨折を負った。	25	19	529	50 ～ 99
2	2020	1	23 ～ 24	空港ターミナルビル内で、天井内ケーブル敷設作業を脚立で実施しようとして昇降した際、2段目より足を踏み外し転倒した。そのとき、右手首より着地して粉碎骨折した。	35	1	371	1～ 9
3	2020	1	13 ～ 14	病院作業所の南面外部足場6層目で、外部足場解体を行うため、外部側手すり（上段パイプ）を外し、荷下ろし準備を始めた。そのとき、バランスを崩し11m下の地面上に重ね置きされた（高さ約1m）ロック付きアンチの上に墜落し、両足他を骨折した。フルハーネス型安全帯を着用していたが、フックを固定物に掛けていなかった。	31	1	411	1～ 9
4	2020	1	11 ～ 12	現場で、足場資材をトラックに積み込み作業中、後方に積んでいたタイル材が風で倒れ、ふくらはぎ下に当たり、両下腿を打撲した。	48	4	529	10 ～ 29
5	2020	1	11 ～ 12	土間コンクリート上で脚立に上って水平ネットの撤去作業中、1200mmの高さから転落して左足踵を骨折した。	63	1	371	10 ～ 29
6	2020	1	15 ～	新築工事現場で、テレスコクレーンのワイヤー（ドラムウィンチ）周辺部でワイヤーの乱巻き監視中、異常を発見しとっさに手で修正	65	7	143	100 ～

			16	しようと、ワイヤーとシームの間に指が巻き込まれ両手指切断となった。				299
7	2020	1	14 ～ 15	鉄筋組立作業中、壁筋を吊り上げ建て込む際、結束不良で落下したため、鉄筋工に当たり、頸椎捻挫、左前腕打撲傷を負った。	25	6	521	10 ～ 29
8	2020	2	12 ～ 13	解体工事現場で屋根の除雪をしていた際、ロープを屋根に掛け安全帯をしていたが、安全帯を掛けるときに雪が積もっていたために足を滑らせ落下し、頸椎圧迫骨折した。	68	1	415	1～ 9
9	2020	2	16 ～ 17	店舗解体現場で天井ボードを剥がす作業中、照明器具の配線を引っ張ったことで軽鉄に附属している金具が落下し、眼瞼に接触して左眼球打撲による前房出血となった。	23	4	418	1～ 9
10	2020	2	11 ～ 12	資材置き場でパイプ（3m～5m、直径5cm）を整理作業中、パイプが胸に当たり、右肋骨を折った。	44	5	521	1～ 9
11	2020	2	13 ～ 14	マンションの専用庭で清掃作業中、高さ1.2mのフェンスを越えて隣の専用庭に移動しようとした際、脚立等を使わず乗り越えようとして、地面に左肩から落下し、左肩鎖関節を脱臼した。	56	1	419	10 ～ 29
12	2020	2	12 ～ 13	室内改修工事中の洋室で、立て掛けていた石膏ボードを体で支えながら起こして枚数を確認中、20枚ほどがそのまま自身に倒れ掛かった。その際、床とボードの間に右足を挟まれ、右足脛骨を折った。	47	5	529	1～ 9
13	2020	2	9 ～ 10	スレート屋根の工場で、10mの高さに重ねぶき屋根材（11m）を揚重作業中、屋根上に荷下ろしした材料の、飛散養生の結束作業をしていた。そのとき、強風で1枚の材料とともにあおられ3m下のコンクリート床に落下し、腰を強打して、腰の脊髄を骨折した。	47	1	719	1～ 9
14	2020	2	10 ～ 11	ごみ熔融炉内で、耐火物施工用型枠搬出中、型枠を下ろすため仮置きした際、1枚がずれ落下し、足下に当たり、左下腿を裂創、左腓骨を折った。	60	4	522	30 ～ 49

15	2020	2	10 ～ 11	外壁側面折り板屋根の洗い作業中、下の段の足場に移動し補助アンチに足を乗せたところ、固定していた番線に緩みがあり、バランスを崩し屋根に接触しながら約3m下に足から落ちて左足を骨折した。	55	1	411	～ 49
16	2020	2	15 ～ 16	資材置場で地上2mの場所にある端角を、はしごを使用して地上に降りろす作業をしていた。その際に両手で端角を掴み引き抜くとき、片足を踏み外し右肩から転落し、右肩脱臼骨折、右肩甲骨関節窩を折った。	65	1	371	10 ～ 29
17	2020	2	13 ～ 14	ベニヤ板に釘を打つ作業中、右膝で板を押さえながら高圧釘打機で釘を打っていたところ、狭い場所のため不安定な状態で、手を滑らせて右膝に釘を打ち、異物残留を負った。	52	6	155	1～ 9
18	2020	3	16 ～ 17	ロックウール吹き付け作業終了後の清掃・片付けのため、階段を上がる際に踏み外し、バランスを崩して倒れたときに、右腕を階段に打ち付け、骨折した。	59	2	413	1～ 9
19	2020	3	11 ～ 12	建設工事の現場にて、高所作業車で天井下地工事の養生作業中、移動しようとして走行した際、バランスを崩し、高所作業車が倒れて、左太腿を打撲した。	23	2	146	1～ 9
20	2020	3	9 ～ 10	地下1階の床配筋を行っていたとき、他の作業員が地階に下りるとき、山留め切梁に架けられたはしごから足を滑らせ被災者の上に転落した際、頸椎捻挫を負った。	63	1	413	—
21	2020	3	15 ～ 16	ホテル新築現場で、段ボールをゴミとして処分するため運ぶ際、階段を下りたすぐ先の、鉄製足場板の段差（40cm）を踏み、左足首をひねり、捻挫を負った。	20	19	416	1～ 9
22	2020	3	8 ～ 9	移動中、20cmの段差につまずき転倒し、左足関節外側靭帯損傷、左足部打撲傷を負った。	24	2	417	30 ～ 49
23	2020	3	14 ～	足場の手すりを乗り越えて下りる際、地中梁の鉄筋上に置いていた型枠と一緒に落下し、右膝を骨折した。	67	1	411	1～ 9

			15					
24	2020	4	14 ～ 15	1階床コンクリート上で、被災者は型枠に断熱材の釘打ち作業、現認者は木工ドリルで型枠側面コンパネ部分の穴開け作業をしていて、お互い相手の作業行動に気付けず、穴の貫通先に被災者の左手があったことで、ドリルが接触し、挫滅創を負った。	36	8	139	50 ～ 99
25	2020	4	10 ～ 11	室内でアルミはしごから下りる際、バランスを崩して落下し右足踵を骨折した。	47	1	371	1～ 9
26	2020	4	12 ～ 13	新築工事現場で、現場終わりに車に乗り込む際、車のドアに右手を挟み、右有鉤骨鉤骨折を負い、右手ギヨン管症候群を発症した。	43	7	231	1～ 9
27	2020	4	9 ～ 10	B棟南面の単独擁壁部足場、地組のため段取り中、約3m上のA棟南面B1F立ち上り1F床型枠建込中の大工が足下にあった足場板（4m）が邪魔になり外に放り投げた。そのとき、飛来してきた足場板が被災者の左足脛脛部を直撃し、左下腿挫傷を負った。	47	4	379	1～ 9
28	2020	4	13 ～ 14	スラブの配筋中、材料を取りに行こうと組み終わった鉄筋の上を歩いていたとき、鉄筋につまずき足を取られて転倒した。そのとき、咄嗟に受け身を取ることができず、顔面を強打し、頸椎を捻挫した。	59	2	419	1～ 9
29	2020	4	17 ～ 18	軽トラックで帰路途中、風にハンドルを取られガードレールに接触し横転した。このとき、右足関節内果を骨折した。	23	17	221	10 ～ 29
30	2020	4	8 ～ 9	マンション新築工事現場で、床スラブ鉄筋の上を歩行中、差筋をまたぐ際、作業服の裾に引っ掛かり、つまずき前のめりに転倒し、両手をつき、左手首を骨折した。	48	2	416	1～ 9
31	2020	4	10	工場内で、機械架台にケーブルを送り込む作業中、ケーブルラックとケーブルの間に右手を挟み、甲を骨折した。	33	7	351	10 ～

			11						29
32	2020	4	16 ～ 17	工場で脚立に乗ってボード貼り作業を行っているとき、不安定な姿勢になり、脚立が倒れ転落し左足首を骨折した。	28	1	371		1～ 9
33	2020	5	14 ～ 15	工場内で、約25mm×25mmの角材を左手で握り、ベビーサンダーで切断および角材の先端を削る作業中、手袋はしていたが手袋ごと左手親指付け根を切った。	55	8	153		1～ 9
34	2020	5	8 ～ 9	杭埋設作業中、杭を受けるワイヤーとバックホウのバケットフックに鉄板吊り用ワイヤーを接続し、杭の沈下防止を行った。そのとき、ワイヤーに手を掛けた状態でバックホウを動かしたため、左手小指先端をワイヤーと鉄板フックの間に挟まれ、左手小指皮膚欠損創を負った。	32	7	142		10 ～ 29
35	2020	5	13 ～ 14	測量箇所から水準値を確認するためにレベル測定機に向かって移動した。そのとき、道路ではない法面（付近を重機が走行中）を移動したため滑り落ちて、重機のクローラーに右足を轢かれ、右足脛骨、腓骨、趾骨を折り、足根骨脱臼を負った。	49	7	142		10 ～ 29
36	2020	5	16 ～ 17	タワークレーンで、クレーン指定位置に戻すため、吊り上げワイヤーを外す作業中、フックを巻き上げた際、型枠材が20cm持ち上がり、足場手摺材と型枠材に挟まれ、顔面を強打し、目底亀裂骨折し、鼻に裂傷を負った。	27	7	211		10 ～ 29
37	2020	5	14 ～ 15	ガレージ新設工事現場で、型枠の解体中、ばらしたパネルが左足小指に当たり、骨折した。	49	4	522		1～ 9
38	2020	5	8 ～ 9	資材置場で、オペレーターと点検作業を行っていた際、レバースロックが必要となり、鋼材の上に取りに行き、下りる際、足を踏み外して落下し、頭や背中を打ち、外傷性くも膜下出血、胸椎椎体骨折、後頭部挫創等を発症した。	68	1	521		50 ～ 99

39	2020	5	14 ～ 15	中学校の屋内運動場改築工事で、鉄筋コンクリートの基礎工事中、延長コードの線持ちをしていた際につまずいて転倒し、単管足場に左胸を強打して肋骨を折った。	72	3	411	～ 49
40	2020	5	9 ～ 10	両養生作業で、不足資材を探しているとき、左足で足下に落ちていた枝木に刺さっている釘を踏み抜き、左足裏に刺傷を負った。	39	9	419	～ 49
41	2020	6	15 ～ 16	3階スラブ上で墜落防止柵をずらし、物下ろし開口部より2階スラブに解体材（金属くず）を投下中にダクト（L=20、250角）が安全帯リードに引っ掛かり、墜落防止柵を片手で掴んだが、引きずり込まれて開口部の隙間より墜落して、肋骨、座骨、胸骨を折った。	40	1	414	10 ～ 29
42	2020	6	9 ～ 10	鉄板を別の場所に移動するために、パワーシャベルで吊り上げた際、鉄板が動いてしまうので押さえていたが、想定以上に鉄板が動いて、パワーシャベルと鉄板の間に左脹脛が挟まれて外傷を負った。	45	7	142	1～ 9
43	2020	6	10 ～ 11	新築工事現場で基礎の鉄筋工事中、鉄筋材を上下で受け渡し作業中に鉄材が落下し、顔にぶつかって右頬部に挫創を負った。	43	4	521	30 ～ 49
44	2020	6	8 ～ 9	作業場で、雨除けシートを張る作業中、トラロープを重機のアームに掛ける際、ロープを踏んだ状態で、滑り転倒した。その際、右手をつき、右手首を粉碎骨折した。	51	2	521	10 ～ 29
45	2020	6	13 ～ 14	樹木撤去後の湿地で、側溝に足が滑り、片足が入って転倒した。その際、左足関節剥離骨折・靭帯損傷、左膝打撲を負った。	20	2	418	1～ 9
46	2020	6	11 ～ 12	基礎柱帯筋の固定作業中、仮設足場を踏み外し、約3mの基礎底へ転落して、肋骨を折った。	48	1	411	1～ 9
			11	10tダンプの荷台上でコンクリートガラを積み込み作業中、右足がガ				1～

47	2020	6	12	ラの中に沈んだ状態のままガラが押し出されたため、右足の外側に当たって骨折した。	57	6	529	9
48	2020	6	16 17	工事現場で、基礎ピット（深さ4.5m）にある水中ポンプ（約19kg）をロープで引き上げていた際、途中でロープが滑り、右手薬指に絡まって不全切断した。	24	8	379	10 ～ 29
49	2020	6	15 16	鉄骨上部で母屋材のボルトを入れているとき、シノでボルト穴を強くこねているとき、安全帯のフックを掛けずに作業していたため、シノがボルト穴から外れた際、バランスを崩して落下し、多発胸椎椎体骨を折った。	26	1	418	1～ 9
50	2020	7	12 13	2階スラブコンクリート先端均し時、階段開口部に傾いていた鉄製足場板を掛け直した際に、コンクリート打設面と掛け直した鉄製足場板との間に足を入れて墜落し、右肩甲骨・胸椎棘突起骨折を負った。	70	1	414	1～ 9
51	2020	7	17 18	工場内で、固定電動丸ノコで材木の加工作業をしていたところ、手を滑らせて左親指の先端を切断および人差し指に切傷を負った。	33	8	131	1～ 9
52	2020	7	12 13	台ノコで加工用ベニヤひきわり作業中、切り終え間近に台ノコのコードが引っ掛かり、無理に押し込もうとした際、手が滑って刃に接触し、右手人差し指に裂傷を負い、中指を骨折した。	51	8	131	100 ～ 299
53	2020	7	16 17	現場床で木材の製材中、木材の向きを変えるとき、右親指の先に丸のこが当たって、右親指先に切傷を負った。	60	8	131	1～ 9
54	2020	7	13 14	車の調子が悪いので、ジャッキアップしようとジャッキ（15kg）を持ち上げ、車まで歩いて行こうとしたとき、手を滑らせて右足甲に落とした。その際、安全靴を履いていたが、鉄板のない部分に落ちて骨折した。	24	4	363	1～ 9
			11	2階建ての家屋解体作業現場で、柱をつなぐボルトを外す作業中、				10

55	2020	7	7 12	足場と建物をつなげる壁継に足を掛けた際、落下して、左手関節舟状骨折した。	26	1	411	～ 29
56	2020	7	17 18	ショールームで、コンセントの送り配線を通すためモールボックスの切断加工中、カッターの刃が折れ、残りの刃が左手薬指に刺さり、左薬指に切創および屈筋腱を損傷した。	22	8	364	10 ～ 29
57	2020	7	14 15	3階建てアパート屋上から土のう袋に詰めてあるコンクリートガラ（10～15kg）を、ペール缶に入れてロープを使って下に下ろす作業中、気分が悪くなり熱中症を発症した。	42	11	715	1～ 9
58	2020	7	15 16	住宅改修工事で脚立に乗ったとき、物を落としたことに気を取られて足を滑らせ落下して、左骨盤を折った。	48	1	371	1～ 9
59	2020	7	16 17	AI弁室はつり作業終了後、鉄筋切断作業中に具合が悪くなり、隣にいた作業員が冷たい飲み物を取りに行き戻ると、いびきをして寝込んでいた。後方に転倒した可能性があり、急性硬膜下血腫を負った。	53	90	921	10 ～ 29
60	2020	7	10 11	物流センター倉庫屋上で、防熱パネルを移動させるため、2人で積み替え作業中、雨水で濡れていたため右足を滑らせ、バランスを崩した際、パネルの表面鋼板に右手甲を強打し、右小指伸筋腱断裂を負った。	20	3	419	500 ～ 999
61	2020	7	15 16	コンクリート打設工事を終え、次の現場へ移動してすぐに嘔吐して、熱中症となった。	66	11	715	1～ 9
62	2020	7	10 11	梱包された足場材を整備するため、結束されている番線を切断したところ、荷崩れして足場材が右足に接触して、右下腿打撲、右足関節捻挫を負った。	57	5	411	1～ 9
63	2020	8	10	発電施設テント増設工事現場で作業後に事務所に戻り、いびきをかいて倒れていたところを別の作業員により発見され、病院に搬送さ	61	11	715	50 ～

			11	れ熱中症の診断を受けた。				99
64	2020	8	11 ～ 12	天井面の空調機のフェース取り付け時、バランスを崩して1.8mの立馬から転落し、頭部損傷および右鎖骨折を負った。	22	1	371	1～ 9
65	2020	8	16 ～ 17	高所作業車が脱輪したため、復旧作業をしていたところ、リフトで吊り上げて戻したとき、作業車のX字リンクに両手親指を挟まれて骨折した。	28	7	211	1～ 9
66	2020	8	14 ～ 15	1Fフェローデッキ上で配筋作業による鉄筋運搬中に、フェローデッキのトラス筋を踏み外し転倒した。その際、左手をついたときに、左手首を骨折した。	29	2	418	10 ～ 29
67	2020	8	10 ～ 11	U字溝をトラッククレーンの荷台から荷下ろし中、車両が横転しそ うになり、逃げようとした際、溝（深さ2.5m）に飛び降り、胸椎を 圧迫骨折した。	38	3	212	10 ～ 29
68	2020	8	11 ～ 12	昇降路改修工事現場で、ブロックを積み上げた際、仮置きしたブ ロック（200×400×150）が左手甲の上に崩れ落ち、左手に挫創、 骨折を負った。	49	4	419	1～ 9
69	2020	8	10 ～ 11	足場解体現場で、3.8m（2層目）より圧縮材を受け取る際、左手人 差し指にぶつけて骨折した。	22	4	364	1～ 9
70	2020	8	14 ～ 15	新築基礎工事中、油圧ショベルから降りようとしたとき、服の袖に 安全レバーが引っ掛かり、振り解いたときに、安全レバーが外れ、 右足で前進レバーを蹴って、動き出して、キャタピラに轢かれ、左 足を骨折した。	54	7	142	1～ 9
71	2020	8	7 ～ 8	ミドルソーラーの管理現場で草刈作業中、草刈機の刃が防草シート の固定ピンに当たってピンが抜け、長靴を貫通して左足の甲に刺さ り刺傷を負った。	75	4	521	10 ～ 29
			10	階段を下りる際、足を滑らせ落下し、左肋骨の打撲、左第11肋骨を				10

72	2020	8	～ 11	折った。	58	1	413	～ 29
73	2020	9	～ 10	事務所2階を清掃するため、左手に段ボールの束、右手にモップを持ち、事務所脇の階段を上っている際、最上段で足を踏み外して転落し、左鎖骨、左肋骨を折った。	74	1	413	1～ 9
74	2020	9	～ 2	車両基地間で、ちょう架線345mの取り替え作業中にバケット車上で作業をしていた際、既設側と取り替え側の接続点のボルトを抜き取ったところ、取り替え側の固定したカムラーが滑りカムラーと接続金具に左小指を挟まれて切断した。	38	7	379	30 ～ 49
75	2020	9	～ 16	工場内で鋼材を移動するため、鋼材を積み重ねる際に被災者が補助をしていたところ、鋼材と鋼材の間に右手を挟み、小指を骨折した。	52	7	521	1～ 9
76	2020	9	～ 14	1階左官資材置き場でセメント袋の荷運び中、スラブ段差（20cm）に掛けてあるアンチ上（スロープ）を通行しているとき、スロープの途中から下りた際に左足首をひねって靭帯損傷を負った。	25	19	417	30 ～ 49
77	2020	9	～ 11	採石場内で、仮置きしていた鋼材を所定の場所に移動する際、鋼材の一部（重さ約30kg）が崩れ左足が挟まれて、骨折・圧挫創を負った。雨の影響で足場が悪かったため、安全靴ではなく、長靴に履き替えていた。	49	5	521	1～ 9
78	2020	9	～ 9	トラックで高速道路を走行中、大雨のためスリップして制御が効かなくなり、壁面に激突して、肋骨・骨盤を折った。	22	17	221	100 ～ 299
79	2020	10	～ 16	事務所横の作業場で丸鋸を使って角材を加工していた際、丸鋸を置いたとき、左手薬指が回転の止まっていない丸鋸の歯に触れて、切創を負った。	45	8	131	1～ 9
80	2020	10	～ 11	小売店店舗屋上の折板屋根を塗装するため、はしごを使用し折板屋根側面の笠木部分から屋根上に下りた際、折板屋根の凹んだ部分に	76	2	415	1～

			12	左足が乗るように着地したため、バランスを崩して屋根の上で転倒して、左足を骨折した。				9
81	2020	10	14 ～ 15	足場上で清掃作業中、ごみ袋を階段手すり壁に置き、斜め形状の手すり天端に足を掛けて、階段の踊り場に下りようとしたところ、足を滑らせて転倒し、首・肩・背中に頸髄損傷を負った。	73	1	411	50 ～ 99
82	2020	10	15 ～ 16	資材置き場場内で資材準備中、バタ角材（長さ約60cm）を抱きかかえるように持って移動していたところ、砂利の上に敷いてあるベニヤ板につまずき、そのまま正面から倒れた。その際、持っていたバタ角材に強打し、右眼球破裂を負った。	77	2	417	30 ～ 49
83	2020	10	9 ～ 10	新築工事現場前道路で、トラック荷台上で鉄筋足場の材料を荷降ろししていたところ、玉掛ワイヤーが荷に引っ掛かり、引っ張っていたところ、玉掛ワイヤーが抜けてトラック荷台上から道路面に仰向けで転落した。その際、背中を強打し、腰椎1～4左横を骨折した。	46	1	372	1～ 9
84	2020	10	11 ～ 12	多目的センターで、仮設足場材（折畳式天井用 H1950×W1300、150kg）の搬出作業中、傾けた状態で建具枠を通過する際、タイヤが滑り足場材が倒れ、挟まれた。このとき、床で臀部を強打し、骨盤を折った。	66	5	362	1～ 9
85	2020	10	15 ～ 16	建物内の階段で、荷物を抱えて下りる途中、足が引っ掛かって転倒し、土間で左肘を強打して骨折した。	49	1	413	1～ 9
86	2020	10	13 ～ 14	鉄筋コンクリート造10階建て建設工事現場で、クレーン作業中、梁筋を足場上に置く際、被害者の左手親指上に下りて、ビデーの上で挟まり挫傷を負った。	27	7	521	1～ 9
87	2020	11	16 ～ 17	建設工事現場で、セメントを4階に運ぶ作業を行ったり足場上で歩行しながらコテを使用したりしていた際に転落し、頸椎損傷で死亡した。	48	1	411	1～ 9
			12	昼休み時間に、休憩室より仮設トイレに向かう際、道路に出ようと				1～

88	2020	11	13	向かってきた業者の車両にぶつかり転倒した際に、腰部打撲傷、右肋軟骨擦傷、頸椎捻挫傷を負った。	49	17	231	9
89	2020	11	15	資材センターにてトラックのクレーンで荷物を降ろすため、リモコンを操作し、荷物を見ながら作業をしていた際、荷物の吊り具が外れて落ちてきた荷物に接触し、右尺骨および右橈骨を折った。	46	4	212	—
90	2020	11	12	ブラケット足場組み立て中、ブラケット単体に足を乗せていたところ、足を滑らせて転倒し、自身が乗っていたブラケットに左脇腹を強打して、左肋骨骨折、左腎損傷を負った。	29	2	411	10 ～ 29
91	2020	11	14	店舗新築工事現場で、天井の照明器具を取付中、脚立（12尺）から下りる際、床が濡れており、足が滑り、脚立と共に倒れ、腰部・頭部を強打し、骨折、打撲傷を負った。	59	1	371	1～ 9
92	2020	11	9	外壁角端材の玉掛けの際、ナイロンスリングを玉掛けし、荷揚げ作業のときに、下部の2段目のナイロンスリングをフックに掛け、吊り上げた際、荷台から崩れそうになり、支えきれずに荷台から外壁材とともに落下し、材料の下敷きになり、肋骨・骨盤・右足を折った。	53	1	221	—
93	2020	11	11	3tユニック車を停車して、仮設トイレを工事現場内に設置しようとしたところ、ユニック車のアウトリガーを接地したときに車体が坂下側に滑り、隣地の塀とアウトリガーの間に挟まれ、胸部が圧迫され肝損傷、外傷性気胸を負い、肋骨を折った。	40	7	212	1～ 9
94	2020	12	15	建設工事で、ローリング足場上にあった天井ボードの残材を下ろそうと、足場外側の棧を途中まで下りたとき、滑って幅木に左手を掛けた際、幅木が外れて、約2.1m墜落し、コンクリート床に右足踵を強打して骨折した。	54	1	411	1～ 9
95	2020	12	14	工場改修工事で鋼板の切断作業中、長い板を短く切断している際、切断後の押さえバイス間に手の指が入ってしまい、押さえバイスに圧縮されて指がつぶれ、右第4指尖部と右第2指に剥離骨折、挫減創を負った。	32	7	159	1～ 9

96	2020	12	9 ～ 10	2社が同一の現場事務所にて新型コロナウイルス陽性者が発生した。前日に一緒に昼食を取っていたため濃厚接触者としてPCR検査をしたところ陽性と判定された。	42	90	911	10 ～ 29
97	2020	12	0 ～ 1	現場事務所内で勤務していた同僚が、新型コロナウイルスに罹患し、社内ルールでPCR検査を実施したところ陽性判定となった。	61	90	911	1～ 9
98	2020	12	9 ～ 10	咳、味覚障害が出て抗原検査を受けたところ陽性と判定された。	34	90	911	100 ～ 299
99	2020	12	11 ～ 12	複合開発新築工事で、エレベーターピット内（深さ約1.27m）の清掃を行うため、仮設はしごを前向きに下りようとした際、2段目のステップで足を滑らせ、エレベーターピットの底盤に転落し、左脛骨天蓋、左腓骨遠位端を折った。	60	1	371	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。